

グローバル・スタディーズ学科基礎演習 1・2 年生合同講演会

「海外で働く ～世界で踊る～」

日時：7月10日（火）9：00～10：30

場所：1号館2階 123教室

講師：畑中葵さん

2015年度国際教養学科卒業生のバレエダンサー畑中葵さんをお招きし、火曜日1時間目のグローバル・スタディーズ学科基礎演習を利用した1年生・2年生合同講演会を実施しました。グローバル・スタディーズ学科の企画とはいえ、他学科の方にもぜひ聞いていただきたいと、掲示や校内放送でも広く参加を呼びかけました。

当日は約120名の学生が参加しておりましたが、学生たちを目の前に、畑中さんにも舞台とは違った緊張感があったようです。一番初めに、Sr.加藤先生から、アドバイザーだったということで、畑中さんに関する3つのエピソードを教えてくださいました。

- ①白百合祭のミスコンでグランプリを獲得したこと
- ②教職（英語）を学年で一人だけやり遂げたこと
- ③選択科目であった卒論を50ページの大作として完成させたこと。

大学時代には、必修授業が多い中、バレエの練習も授業の課題等もこなしていると、毎日就寝時間が26時になっていた、というお話には大変驚きました。

在学中からすでにオーディションなども数多くの体験をされており、その実体験に裏打ちされた力強い言葉に学生も真剣に聞き入っているようでした。

バレエに関しても、舞台に出れるまでに多くの関門のあるとても厳しい世界であることを垣間見れましたし、時間の使い方や自己管理、社会における厳しさはどんな職種を選んだとしても、相通じるものがあります。意見を主張することが求められる海外において、細くて華奢に見える身体とは裏腹に芯の強さを持ち、また、アジア人として海外で生活する上での覚悟を畑中さんから感じることができました。

そんな大変な生活な中でも、カフェめぐりやスイーツ、インスタ映えする手作り朝食、休日の過ごし方もその年代の女性らしい一面もお持ちで、豊かに人生を歩んでいらっしゃる様子を見て刺激される学生もいたことと思います。

お忙しい中、時間いっぱいお話をいただきました。畑中さんの今後のご活躍をお祈りいたします！

